

2023 年春季語学留学/オタゴ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

e book を使って、それに沿って授業が進められていきました。reading, speaking, listening, writing の授業が1週間の中にローテーションであります。クラスは20人程度で、ペアワーク、グループワークがたくさんあります。

教科書に沿って行われており、テストもユニットごとに行われていた。基本的にペアワークやグループワークが多く、町中にある無料の博物館に行くとマオリの文化を学ぶ学外学習などもあった。週末の課題は一切なく、月曜日から木曜日のみ課題が出された。

僕のクラスは、一番レベルの低いクラスだったので、基礎中の基礎から英語を学びました。正直最初はあまりにも簡単すぎて、どうなるかなと思いましたが、結果的に自分は基礎があまりできていなかったことに気づけて、よかったです。

4 技能満遍なく学習したが、特にスピーキングやディスカッションの授業内容が多く日常会話に使える英語を学べた。

教科書やペアワーク、グループワーク中心の授業

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラスの人数は20人程度です。クラスには日本人がほとんどで、1人アルゼンチンから来た子がいました。

クラスの人数は20人程度。ほとんどが日本人だが、タイ、韓国、中国、アルゼンチン、トンガからきている学生がいた。関西学院大学、関西大学、京都橘大学、名古屋外大、京都外大、文京学院大学、成城大学、岡山大学、北海道の商科大学の学生がいた。

クラスの人数は15人ぐらいで、日本人が8割で他国のひとは2割ぐらいでした。

ほとんど日本人で、数人外国人が混ざっていた。外国人にはタイ、韓国などの国の人がいた。

18人のクラスに4人の他国の留学生。タイから二人、トンガから一人、中国から一人。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

ペアワークやグループワークが多かったので、すぐに仲良くなれました。発言は自由にできました。クラス全員が発言できるように先生があててくれます。発言するとその姿勢をほめてくれるので、発言しようという気持ちになれました。

校外授業が多かった。英単語を覚えるための楽しいゲームなどがあった。

とても明るくてすごく楽しかったです。

先生が明るく常に何か発音やディスカッションをしていて、楽しく授業を受けることが出来た。外国人も数人いたので、会話する時は英語を必然的に使う場面が多かった。

とても明るく自分の意見を言いやすい雰囲気でした。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

メールの書き方です。今まで、フォーマル/インフォーマルなメールの書き方を教わってなかったので、今回知れてとてもためになりました。

オタゴミュージアムでのミュージアムツアー兼資料集め

すべてです。

ライティングの将来所有したいものを書くレッスンとリビングの設計図を書いて発表するレッスン。

ニュージーランド学習で実際にミュージアムに行き学ぶ授業。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

わからないことがあったら質問してその日のうちに解決するようにしていました。

他国からの留学生がクラスメイトにいたので、仲良くなるために積極的に話しかけたり、遊びに誘ったりした。

ひたすら知識やスキルを伸ばすこと。

わからない時にその都度聞か調べながらすること。自分の単語帳を使って学習すること。

分からないことはその場で解決し、課題に加えて分からなかった単語などを書き出しました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。	通学手段	通学時間
1人	タイ出身の人でした。	バス	15-30分
2人	日本人 関西大学、京都橘大学	バス	30-45分
2人	日本人一人でした。	バス	30-45分
1人	日本人	バス	45-60分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
タンス、机、ベッド用ランプ、ヒーター、タオル、ハンガー、コルクボード	ドライヤー、シャンプー、リンス、洗顔など
ベッド、机、いす、ハンガー、服などを入れる棚、ベッドライト	ヘアドライヤー、シャンプー、リンス、ボディソープ、下着、服、靴、スリッパ、化粧品等、水筒、変圧器、SIMカード、パソコン、洗濯ネット
救急セット、お菓子、ハンガー、ティッシュ、ウェットティッシュ、棚、水筒	ドライヤー、シャンプー、薬
ドライヤー、バスタオル、鏡	日用品、洗面用具、折り畳み傘、

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

簡易的なシャワールームだったこと。

時間にルーズなところがあるため、バスは時間通りにくることが一度もなかった。バスの運転手が欠席などした場合、バスがキャンセルされることもあるため本数が少ない地域では遅刻する可能性もある。ファミリー自体も時間にルーズなので予定が狂うことが割とある。

バスタブがないこと。テーブルがなかったこと。

夜ご飯の時間、お風呂の時間

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ヘアドライヤーはワット数が異なるため、現地での購入をすすめる。ニュージーランドでは WAREHOUSE というお店で22ドル、2100円程度で購入することができる。

自分に合う薬や、アレルギー対策(花粉など)、バス乗り換えのアプリを使う、現地の友達を作ってわからないことを聞く

お風呂の時間を決めておく、ホストファミリーと仲良くなるためにどんどん自分の話をする事です。

パソコンは 持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。	その際に費用は かかりましたか。
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本からポケット Wi-Fi を持参	LAN ケーブルで可能	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
友達とジムに行ったり、町に遊びに行ったりしました。	
大学主催の旅行もあり、約 370 ドルで 2 泊 3 日のクイーンズタウン旅行に行った。	Countdown, New World,
友達のホストファザーのコンサート、ライブ、フェス、ジム	カフェ、スケート、ボーリング、ショッピング、フィッシュ&チップス
大学主催の旅行に週末参加したり、フェスティバルなどがありました。	ショッピングセンター、娯楽施設、海

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
単語の勉強
リスニング練習
英語のラジオを聴くこと、単語学習
日常生活で必要になる英語の確認

留学前にしておけばよかったと思う準備
日常会話のテンプレートの練習
もう少しリスニングの対策を増やしておけば、慣れるまで時間がかからずに会話できると思ったので、日常会話のリスニング練習をすれば良いと思う。
留学先の情報。天気やどんなところがあるかなど。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
お菓子
綿棒、スリッパ、洗濯ネット、ビニール袋、生理用品、爪切り、カミソリ。日本のお菓子は喜ばれた。
ヘアケアの道具、化粧水など、ヘアゴム、パスポートが入るぐらいの小さいカバン、圧縮袋、モバイルバッテリー、また差し入れでお香を持っていったら好評だった。
日本のお菓子、ヘアオイル、折り畳み傘

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
ドライヤー、タオル	生理用品、爪切り、カミソリ、綿棒
マスク、ノート、高価な小物、カップ	軽い服、ダウンジャケット
バスタオル	日本食

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
クレジットカード、現金3万円分	クレジットカード上限10万円、3万円分、日本円で2万円をもって行った
現金、デビットのカード	現金 36,000 円、カード 80,000 円程度
現金を 10 万円程度換えて、残りはクレジットで支払った。	現金は空港で 10 万円ぐらい換えて、クレジットカードは私は上限が 50 万円でしたが、使いすぎる心配がある人は制限をかけてもいいかと思う。
クレジットカード、現金	クレジットカード上限 10 万、現金 5 万円分

現地で支払った住居費と食費を教えてください。
50,000 円程度
住居費は特になくて、食費は夜にレストランやバーに行くと少し高くなる。
ニュージーランドドル約 20 ドル

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
45 ドル
テキスト費用なし、交通費 3,000 円程度(朝は車で送ってもらうことが多かった)
テキストはパソコンを持っていけば、パソコンから視聴可能で、通学費は、週に 15 ドルぐらいで生活出来た。
ニュージーランドドル約40ドル

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。
300ドル
昼ご飯代に 10,000 円程度、お菓子などに 8,000 円程度、お土産用のお菓子で 30,000 円程度、大学主催の旅行で 37000 円程度
僕の場合、お土産代に 2~3 万円、旅行(旅費+食費など)で 5 万円~6 万円、買い物で 2~3 万円程度かかった。
ニュージーランドドル約 500 ドル

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
初めは簡単な返事しかできなかったが、慣れてくるとしっかり会話をする事ができた。自分から英語でコミュニケーションを取れるようになった。
日常会話で使える英語が増えていったと思う。他国の留学生であれば、細かいニュアンスを意識する必要がないので話しやすく、自分から話すタイミングが何度もあった。
店や軽い日常会話ならネイティブのスピードについていけるようになった。よく使う表現は使いこなせるようになった。基本明るく会話していれば、詰まってもジェスチャーなどを使えば伝わるし、相手も理解しようとしてくれる。
授業での発表やペアワークなどでの活動を通したり、ホームステイ先での会話などからリスニング力を中心に向上しました。

留学前の目標とその達成度

スムーズに会話できるようになることを目標にしている、まだ完全に流ちょうに話せるようになったわけではないが、留学前よりはスムーズに英語が出てくるようになった。

完全に達成できたわけではないが、ネイティブのスピード感についていく点では、少し達成できたが、これからまだ勉強が必要だと感じた。

日常生活以上の会話を目標に参加しました。留学を通して、日常会話以上に自分の意見を伝えたりすることが出来ました。

留学を通しての成長ポイント

自分から英語でコミュニケーションを取れるようになったこと。現地での速い英語を聞き取れるようになったこと。

積極性がうまれたのと、異文化に対する自分自身の考えがまとまった。海外で生活するために必要な知識が身についていたと思う。

軽い日常会話と知らない人と会話するハードルが下がって、より社会的な人間になりました。わからないことも英語で伝えることが出来てトラブルに対応できるようになったこと。

色々なことにチャレンジする所です。自分から話しかけたりすることが出来ました。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学を通して、英語を理解していくとともに勉強に対するモチベーションが上がった。

ホームステイが楽しく、次の秋学期の留学ではまた違う国に留学したいと思った。寮も興味があるが、ホストファミリーと過ごす時間は特別で楽しいものだった。将来海外で働きたいという思いがさらに増した。

留学前から時間が経つにつれて、学んだ表現を使いたいと思うようになり、モチベーションは格段に上がったように感じます。また留学後も引き続き語学学習に励みたいと思います。

留学前は自分の英語力がどれほどのものか分かりませんでした。しかし、留学中に他国の留学生との英語能力の差に気づきました。そこから現在まで、自分の弱い部分をよく理解し英語学習をさらに進めていこうと思いました。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

Speaking の授業

最終日に英語でメッセージをスラスラ書いていた時。

サーフィンをしたり、ラグビーの試合を見たり、新しいことをしている時。

ホストファミリーと会話を楽しむとともに日常英語を学ぶために頑張りました。

留学先大学の良かった点

クラスが少人数なのですぐに打ち解けられて居心地がよかった。

大学主催の旅行はすごく良かったと思う。授業内容も興味深いものが多く、積極的に取り組めるものが多かった。

ジムの施設や校内の清潔感があって日本とは違う良さがあった。またジムの施設の充実度はすごく衝撃を受けた。

少人数のクラスであったため自分の意見を伝えやすかったことに加え、先生との距離が近かったため質問や分からないことを聞きやすかったです。

基本的に先生が皆さん温かく迎えてくれる。